

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

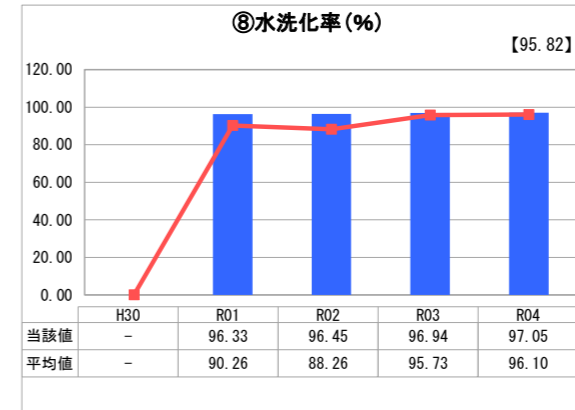
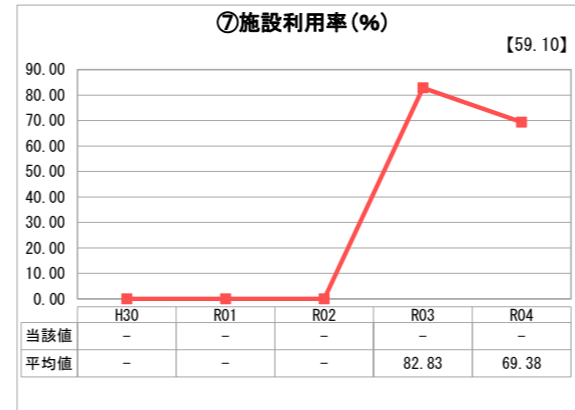
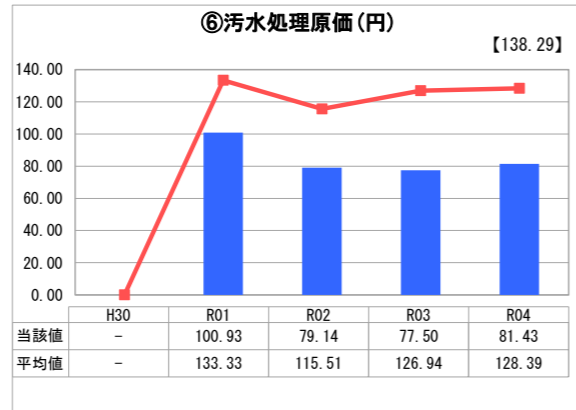
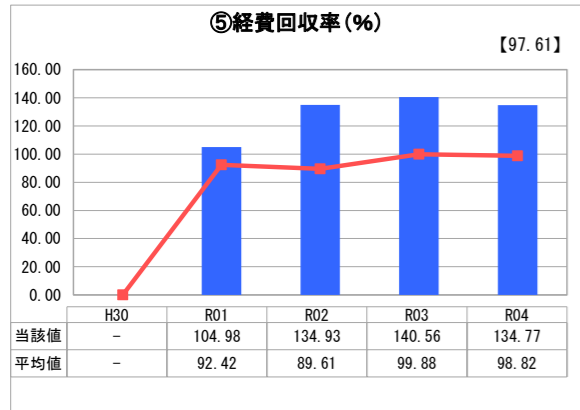
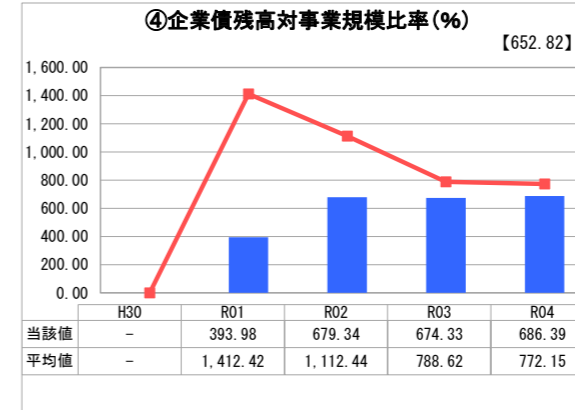
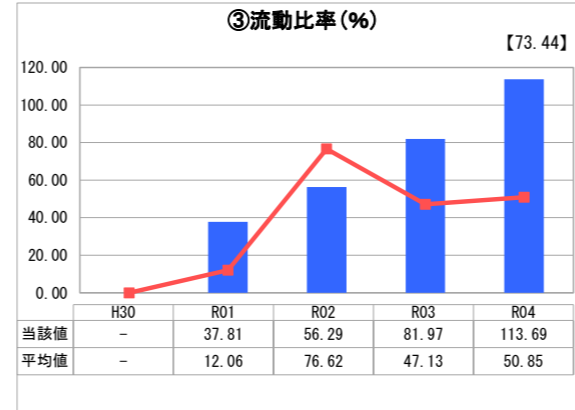
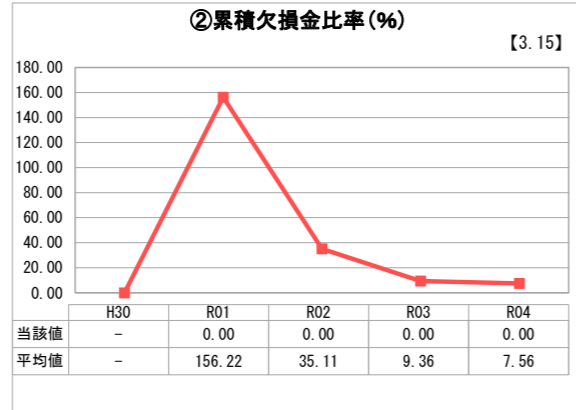
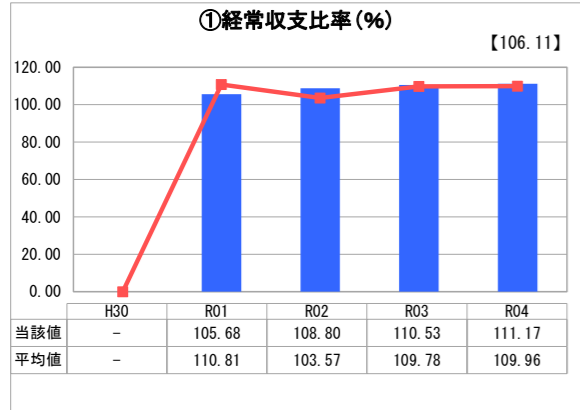
埼玉県 吉川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	82.42	83.50	94.26	1,870

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
73,001	31.66	2,305.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
60,845	6.59	9,232.93

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、前年度に比べて0.64%上昇し、111.17%となり、単年度収支が黒字であることを意味する100%を超えており、適切な数値であると考え。今後についても吉川市下水道事業経営戦略に基づき、適切な経営に努めていく。

②流動比率については、前年度に比べて31.72ポイント上昇し、113.69%となり、初めて100%を上回ることができた。今後についても減価償却累計額が増加していくことから、流動資産が増加していくものと考え。

③企業債残高対事業規模比率については、前年度に比べて12.06%上昇し、686.39%となったが、類似団体平均値以下のため、企業債残高が増加する見込みであるため、引き続き注視することが必要であると思われる。

④経費回収率は、前年度に比べて5.79%減少し134.77%となったが、類似団体平均値及び全国平均値をともに大きく上回っており、適切な数値であると考え。今後についても適切な支出に努め、経費回収率の維持を図る。

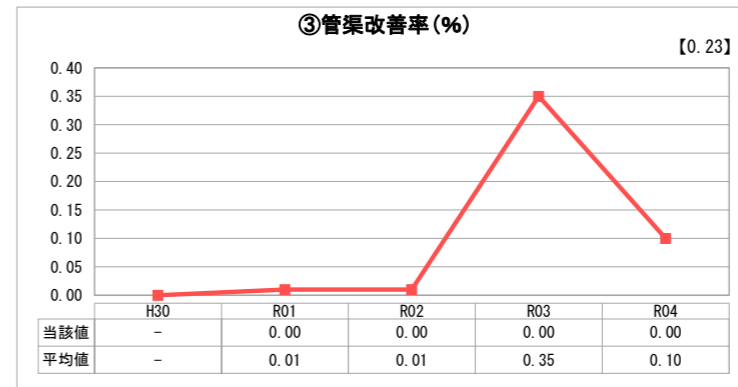
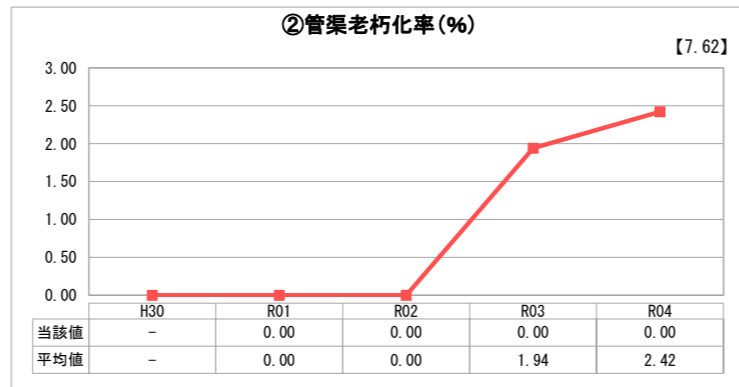
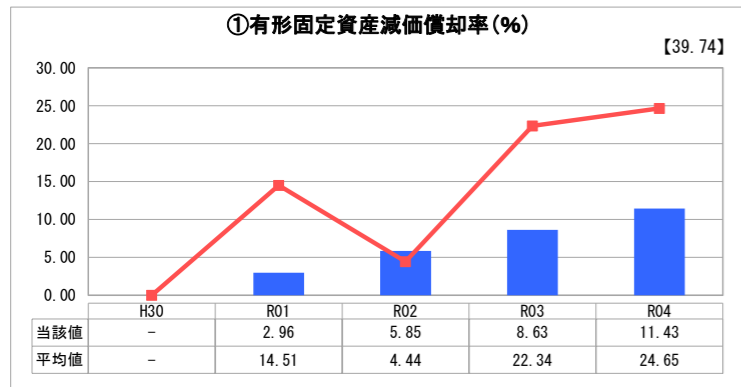
⑤汚水処理原価は、前年度に比べて3.93円増加し、81.43円となったが、類似団体平均値及び全国平均値をともに大きく下回っており、適切な数値であると考え。今後についても吉川市下水道事業経営戦略に基づき、適切な支出に努め、汚水処理原価の維持を図る。

⑥水洗化率については、前年度に比べて0.11%上昇し、97.05%となり、類似団体平均値及び全国平均値を上回っている。今後、大きく上昇することは難しいと思われるが、引き続き、未接続世帯への通知を実施し、水洗化率の向上を図る。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、耐用年数を経過した管渠がないため、管渠の更新を実施していない。今後は吉川市下水道事業経営戦略（令和2年度策定）に基づき、計画的に管渠の維持管理及び更新を図る。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現在のところ、各指標が類似団体平均値及び全国平均値を上回っており、適切な経営状態であると考え。今後についても、汚水処理費の増加や、管渠及びポンプ施設の耐震化工事に対応するため、将来的には管渠の更新をしていく際には、財源不足になることが吉川市下水道事業経営戦略（令和2年度策定）において明らかになっている。今後については、下水道使用料の改定を視野に入れつつ、令和7年度に経営戦略の改定作業を行う予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。